

はじめに・・・「R²って何？」

国際ロータリー第 2780 地区 ROTEX では、2005 年度 4 月より、月刊の情報誌を発行しています。

名称である「R² (アールスクエア)」は、「ROTEX Reports」の頭文字をとったもので、
当地区 ROTEX メンバーの体験やアドバイスなどを中心に構成されております。

派遣候補生は、R² をファイルすることが求められます。

派遣先に R² のファイルを持っていけば、悩むことがあったとき、読み返すことができるからです。

R² は、学生が自分たちで問題を解決していく力をサポートするものなのです。

これまで発行された R² はウェブサイトでも閲覧出来ます

<http://www.rotex2780.com/>

新派遣学生へ ROTEXからメッセージ

いしわた まさひろ

石渡 雅大 2007 年度 ROTEX 会長 【2004 年度ロシア派遣】

「ワシヅカミでたくさん吸収しよう」

皆さん合格おめでとうございます！筆記テスト、面接と緊張の連続だったのではないかと思います。今日から皆さんは派遣候補生となり、約一年間、出発までの間に留学の準備を進めていきます。何かわからないことがあったら是非 ROTEX を活用していただければと思います。

今年は例年よりも早く派遣候補生が決まりました。その分、皆さんはゆっくり準備ができるということです。この準備期間はあっという間に過ぎてしまいます。そして来年の夏には飛行機に乗って、派遣先の地を踏んでいることでしょう。このチャンスをいかし、皆さんにしか得られない貴重な経験を是非「ワシ掴み」にして欲しいです。ロータリーの留学では手を出していれば様々な経験を与えてくれます。しかし、ただ単に手を出している学生ではなく、自ら奪いに行くぐらいの熱意を持ってこの留学に臨んで欲しいです。「ワシ」になれるようにこれから一緒に頑張っていきましょう！



「旅立つ前の時間を大切に」

こんにちは、合格おめでとうございます。「やった、留学できる！」なんて興奮していた自分を思い出します。派遣先でどんなドラマが待っているか、それは誰にも分かりません。ですが、異国で生活できるチャンスを得ただけで、楽しい留学生活が過ごせるとは言えません。なぜなら、旅立つまでの日本の時間がとても大切だと感じたからです。人によっては全く学んだことない言語の中に飛び込む人もいでしょう、言語上達のための準備期間も貴重です。そうでなくても、皆さんは今の環境と 180 度違う所に行くと言っても過言ではないと思います。そのための心の準備期間も大切です。家族や友人と過ごす時間もより重く感じたりします。1 年間外国で過ごすという大きな目標に向かって、それまでの時間をどう大切に過ごしたかで、派遣先で感じるモチベーションなどに影響が出ると思います。たくさん準備してきた分、頑張ろうって思えるし。

きっと今、そのチャンスを得たものの何をしたら良いのかわからない、そんな心境ではないでしょうか。わからなくて、いいんです。私達もそうでした。わからないことは ROTEX に聞いて下さい。経験者として伝えられることを通して、皆さんの準備を手伝えたら良いなと思います。一緒に頑張っていきましょう。



「不安なことは何でも話して下さい」

皆さんこんにちは。ロータリーの交換学生候補生に選ばれておめでとうございます。まだまだ分からないことや不安なことが沢山あると思いますが、安心して下さい。皆さんには派遣までに約半年という時間が残されています。その時間にみなさんの疑問に思っていることや不安に思っていることを私達 ROTEX にぶつけて、綺麗に消化して下さい。僕が派遣候補生に選ばれた 3 年前は全てが不安で上手くやっていたのか心配でした。そんなときに ROTEX の皆さんに色々話しをして留学することに段々自信がついていくようになりました。特に英語圏以外に派遣が決まった学生は不安が大きいかも知れませんが、でも私達も選ばれた時は全く同じ状況でした。こうして今皆さんに前で話ができるのは派遣時代にいた ROTEX の皆さんの おかげです。みんなも遠慮せずに質問や話したいことがあれば私達にどんどん話して不安を解消して行って下さい。半年間しか皆さんといられません、どうぞ よろしくお願ひします。

いしがき しずか
石垣 静香

【2006 年度オーストラリア派遣】



「積極的にチャレンジを！」

まず最初に、新派遣学生の皆さんおめでとうございます。新派遣学生の皆さんは異国の地での留学生活に、期待と不安で胸がいっぱいで、何から始めていけばよいのか戸惑っている人もいると思います。

そこで私がみんなに伝えたいことは、「ロータリーの交換留学生」ということを意識して有意義な留学生活を送って欲しいということです。現地では一つ一つの行動が現地の人に印象を与え、これが「日本人」・「ロータリーの学生」と見られることがあります。その行動がすべての日本人の行動と見られることも少なくありません。そのため自分でとった行動は、自分で責任を取る必要があります。留学準備期間中にオリエンテーションを通して、その重要さを知ることができれば良いと思います。このこと踏まえて、現地でロータリーの留学生として様々な活動に参加したり、プレゼンテーションを行うなど、他のロータリーの留学生ではできないようなことに積極的に挑戦できば素晴らしいと思います。頑張ってください。

しむら たまき
志村 環

【2006 年度ロシア派遣】

「準備期間にできることを即実行！」

みなさん、おめでとうございます。

今心の中は選ばれた喜びと派遣先の国々への期待で胸が一杯だと思います。（私もそうでした！）これから約一年間、派遣学生としての準備が始まるわけですが、まだあと一年ある。と置いていたらもう出発。本当に時間はあっという間に過ぎてしまいます。本当にびっくりするくらい時間がたつのは早いので、思いついたことはすぐに実行しましょう！

それは例えば留学の準備だったり、学校の友達との思い出作りだったり。この「準備期間」は留学中の生活に大きく響いてくる。と私は思っています。忙しい時期だとは思いますが、今のうちに色々なものを見て、感じて、ここで一回り大きくなって出発！ 応援しています！

小ネタ特集

読書の秋にちなんで、本なんて読んでみませんか？

ROTEX に派遣前に読んでいたおススメの本、派遣先の情報を知る方法を聞きました。



「おススメの本を教えてください。」

「英語で紹介する日本—オールカラー 桑原 功次」

英語で勉強しつつ、日本の文化などの意味も自分で理解することができるので、おすすめです。



「世界が見る目が変わる50の事実」

アメリカの問題点が意外と多く書かれています。この本を読んでから行けば問題意識を高く持ってアメリカ現地での生活を送れると思います。その他青少年交換でいろいろな国の人々と関わる上でも役立つと思います。




「高校生留学マニュアル 英治出版」

生徒を送り出す学校側やホストファミリーのための情報も書いてあります。オススメの本などは特にないです。一人一人の留学はそれぞれ違うので、先入観をもつことはあまりいいことではないと思います。読むとしたら2, 3冊図書館で立ち読みして心の準備をするくらいでいいと思います。



「世界がもし100人の村だったら」



 帰国報告書を読んで、ROTEXに質問するなんて裏ワザも教えてくれました。
簡単な日常会話の本があると、困った時に便利みたいです。印象的だったのは、
「地球の歩き方」で派遣先の情報を得ているのが多かったですね。ぜひぜひ観光ブックもおススメですよ。



本以外から派遣先の様子を知る方法を教えてくれた声も見てみましょう。

テレビ、食文化、音楽、大使館、、、んー、興味深いです。

「はるとなつ」という NHKのドラマがお勧め。

ブラジル（特にサンパウロ）にはたくさんの日系人がいます。100年も前にブラジルに入った日本人なので、ブラジルに高い確率で溶け込んでいますが、ブラジル社会ではなぜか日系人だけ日本人とよばれていたり、ジョークのネタによくなったりと何か特別な地位にあるように感じました。同じ祖国をもつ彼らのことを誤解しないで理解するためにも、日系人の知識を付けていくことは大事だと感じました。逆に、ブラジルの国際的に有名な映画、セントラルステーションとシティーオブゴットは、参考程度にしかみないほうが良いと思います。この映画では、ブラジルの貧困者の生活を時には過激に描いているため、行く前に見ると怖くなってしまいう可能性があります。経済格差がとても大きい国なのでこの映画で描かれているようなことも事実として起こりえる（または、えた）のですが、それが当たり前ではありません。

あと、日本にはたくさんのブラジル人の人がいます。神奈川県にもたくさんいるので、その人たちが経営しているレストランなどにご飯を食べに行くだけでもブラジルの生活が垣間見られよと思います。

Editor: Kaori Utagawa Layout: Naoko Takahashi Desk: Yuuki Kabayashi and Ikko Nishiyama

本というか、韓国の俳優、映画、ドラマなどに興味があると初対面の人（特に学校の友達）とは会話がはずむと思います。

本ではないのですが、大使館に行ってもらったスウェーデンについての資料を出発前・留学中に目を通していました。地図や基本的な情報（伝統や文化など）を知ることが出来たので、オススメです。留学中にその資料を元に家族にもいろいろと教えてもらうことが出来ました！



R²は当 2780 地区多くのローテックスの方々、
ガバナー事務所の協力を基に発行されています。
多大なる尽力に感謝いたします。

R²編集長： 宇多川薫（2002 年度アメリカ合衆国）